



佐野市市民活動センター

ここねっと

Try it now ~やってみようから始まる市民活動~

心をつなぐ
第77号



つながり、育まれ、そして、創る

令和7年も終わろうとしています。今年のここねっと重大ニュースの第一に挙げるのは、ここねっとが目指してきた「つなげる」ことで、その先の発展を期待できるような事例がいくつもできました。関係の皆様にお礼申し上げますとともに、その一つの「短大と小学校のつながり」を対談の様子で紹介させていただきます。

佐野日本大学短期大学 准教授 佐藤佳子 氏

×
佐野市立界小学校 校長 立川文春 氏

<センター長>

佐藤先生、そして、立川先生、お忙しいところお時間をいただきありがとうございます。今日は、お二人が進めている「子どもを守るために防災への取り組み」を少し教えてください。まず、立川先生、防災への意識を強くした理由をお聞かせください。

<立川校長>

界小に4月に着任しました立川です。よろしくお願いします。毎日子どもたちの下校に合わせて楽しく学区を回っています。すると、学区は北に向かうほど高く、逆に南はどんどん下り、佐野市で一番低い所となっています。ハザードマップで確認しましたが、驚くことに学区全体が浸水の危険性が高いことを知りました。そして、児童の登下校の様子を想像しながら思ったのは、子どもたちを守るには「自らの命を守る力」が必要だということです。ちょうどそうした時、ここねっとのイベントで佐藤先生とお話しする機会を得たのです。

<センター長>

佐藤先生は令和元年東日本台風以降、防災活動をはじめられ、防災士も取得されたそうですね。さて、今回、界小の先生たちに提供されたプログラムはどういったものでしょうか。

<佐藤准教授>

HUG(ハグ)という静岡県が開発したプログラムで、避難所運営を模擬体験できるグループ演習です。界小は現時点でも氾濫流想定区域、指定避難所になっています。避難所は、常時の組織にかかわらず組織が形成され、在校していた人員で地域の方々とともに避難所が運営されています。ぜひ体験して欲しい内容になっています。

<佐野市洪水・土砂災害ハザードマップ>



<センター長>

立川先生、研修を計画した校長としての思いなどがあればお聞かせください。

<立川校長>

HUGで得た学びは避難所になった場合の備えにもなりますが、災害時により迅速で効率的に身を守るという視点を持つことにもつながるのではないか。そして、こうした資質を身に着けた先生たちが児童に普段から接していくことで、災害や登下校時の危険回避などについても、自然体で教えていけるようになっていけばいいと考えています。

<センター長>

佐藤先生は、立川先生の思いをお聞きになった上でいかがお考えですか。

<佐藤准教授>

体験によって資質や感覚が育まれる、とても大切なことです。また、先生たちが関わる次の世代の子どもたちも育まれていくことは、更に重要なことだと思います。そして、学校や子どもたちを通して身を守る力や身を守るために互いに助け合える力があふれる地域を、皆で創ってくれることを期待したいです。微力ではありますが、これからも界小との関わりをより太くしつつお手伝いをしていきたいと強く思います。

注センター長…市民活動センター長





参加者・団体 募集中!



R8
2/15(日)

市民活動ライブ at AEON MALL

参加
団体・個人
募集

登録団体の活動成果を披露する「市民活動ライブ at AEON MALL」を、2月15日(日)にイオンモール佐野新都市で開催します。コーラス・楽器演奏・ワークショップなど、出演の団体を募集します。また、当日のボランティアも併せて募集します。ライブ出演とパ



ネル掲示を希望する方は、ここねっとまでご連絡ください。 参加をお待ちしています。

←前回の様子から

R8
2/1(日)

第2回 利用者連絡会

参加
団体・個人
募集

「第2回利用者連絡会」を、2月1日(日)に開催します。

今回は、前半に新規登録団体の「一般社団法人ココサポ」による活動紹介とジャズピアノコンサートを予定しています。

多くの登録団体や個人ボランティアの皆様の参加をお待ちしております。



ココサポ → 絵本 JAZZ コンサート



ここねっと活動報告



第1回 利用者連絡会

9月 7 日(日)

第Ⅰ部「問題解決!!スマホの使い方教室(Q&A)」、第Ⅱ部「団体間の交流と意見交換会」の2部制で開催しました。40名を超える参加者がおり、スマホ操作に関する講師へ質問と演習や、日頃の市民活動に関する協議などが活発に行われました。

ここねっとオープンデー

「音楽と音を親子で 楽しもう」

9月 20 日(土)

NPO法人 M・A・T プラスが、音楽療法を体験する講座をここねっとで開催しました。「音楽の力で心と体を元気いっぱいに」をコンセプトに、高校生のボランティアも参加して、音楽に触れる喜びを感じる楽しい講座になりました。

ここねっとオープンデー

「思いっきり“ボンボニエール”コンサート」

10月 18 日(土)

アカペラグループのボンボニエールが、ここねっとでコンサートを開催しました。

ポップスから唱歌まで、幅広い曲目を美しいハーモニーで歌いあげました。今回はケナアンサンブルMOKURENとリコーダーアンサンブルミモザも友情出演し、たいへん盛り上りました。



さのフォーラム主催

「ALL FOR SMILE ～笑顔溢れる スポチヤン大合戦～」

11月 15 日(土)

さのフォーラムが、スポーツチャンバラの催しを若宮球場で開催し、小学生を中心に約30名が参加しました。腕につけた紙風船がバルーンソードでつぶされると負けという簡単なルールです。賞品にお菓子が配られたり、敗者復活戦があったり。子どもたちは楽しそうに走り回っていました。





登録団体の活動紹介～vol.17～



佐野共同高等 産業技術学校



佐野共同高等産業技術学校では、建築に関する様々な技術を学びたい方を募集しています。募集学科は建築設計科で、設計の基礎から応用分野まで総合的なカリキュラムを組み、年間掛けてきめ細かな指導を行ないます。また、コンピュータによる建築設計技術を習得し検定試験合格を目指す指導も行っています。その他、リフォームや日曜大工の設計技法も学べます。現在、幅広い年齢層の方が学んでいます。授業は毎週土曜日の午後です。

令和8年度の生徒募集中です。詳しくはホームページをご覧ください。

オリオン



私たちオリオンは、オカリナの音色に魅せられた仲間が集ったグループです。自分たちの大好きなオカリナ演奏で誰かを癒すことができたら、何かにいかすことがあればと考え活動が始まりました。

今は、高齢者施設の訪問演奏や各町内の行事に出演させてもらっています。施設の利用者からの「また来てね。」という言葉掛けに励まされています。これからもオカリナの魅力発信のため、自分たちの練習もしっかり取り組み、楽しくやっていきたいと思います。

ここねっと取材記事



取材の様子はこちらから

随時更新中

ぜひご覧ください！



11月5日(水)から9日(日)まで、吉澤記念美術館内の地域交流センターで、登録団体里山きり絵の会が「20周年記念展」を開催しました。四季の花々や小動物など、たくさんの作品が展示されました。



11月1日(土)、「第3回さのこどもまつり」が、佐野日本大学短期大学で開催されました。子どもたちが楽しく集える場所づくりを目指し、佐野市学童保育連絡協議会やNPO団体さのわが実行委員会を立ち上げ実施した企画です。



10月25日(土)、イオンモール佐野新都市で、登録団体の一般社団法人ココサポが、「親子でまなぶ絵本JAZZコンサート」を開催しました。ジャズのリズムに合わせて楽器を演奏したり、歌ったりしながら楽しく過ごしました。



10月12日(日)、登録団体NPO法人子どものとなり佐野は、「子どものとなりCAFE」を開催しました。子どもたちが店員となって、コーヒーを淹れたり、お客様と和やかに話したりと大活躍していました。



9月27日(土)、登録団体のちょこっとが、「秋まつり」を開催しました。子ども食堂のメニューもお祭り版です。ヨーヨー釣りや輪投げの他、JICAのOBが開いたブースで、世界の国旗のキーホルダー作りに挑戦しました。



9月14日(日)、佐野市聴覚障害者協会が、パラアスリートの小林恵美さんを招き「日曜教室講演会」を開催しました。40年前の米国大会の銅メダルの経験やデフリンピック東京大会で選手に贈る「サインエール」の手話表現を確認しました。



助成金情報



●一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団
「住まいとコミュニティづくり活動助成」
【申込み〆切：令和8年1月9日】

今日の人口減少社会、少子高齢化社会等を背景にした住まいとコミュニティに関する課題に取り組む地域づくり・住まいづくり活動への助成。

●(一社)全日本冠婚葬祭互助協会

「第27回社会貢献基金助成」

【申込み〆切：令和8年1月31日】

高齢者福祉事業、障がい者福祉事業、児童福祉事業、環境・文化財保全事業、地域つながり事業についての助成。

ここねっと文庫紹介



トカイナカに生きる

神山 典士 著 (文春新書)

コロナ後、都心から郊外に向かって人の流れが「逆流」し始めました。この本は、都心から1.5時間の「トカイナカ」で始まった、新しい絆と仕組みづくりについて取り上げています。見えてくるのは、いきいきと働く人々の姿です。サロンに開設してある「ここねっと文庫」に所蔵しています。興味のある方は、ご一読ください。



佐野市市民活動センターここねっと



〒327-0003

佐野市大橋町 3211-5

TEL/FAX 0283-20-5166

MAIL:sanosc@sctv.jp

HP:<https://kokonet-sano.jp>

開時間館

火曜～土曜 9:00～21:00

日曜・祝日 9:00～18:00

休館日

毎週月曜/12月29日～1月3日

編集後記

10月、足利で壳野雅勇先生の講演があるというので、うきうきしながら車を走らせお会いしてきました。

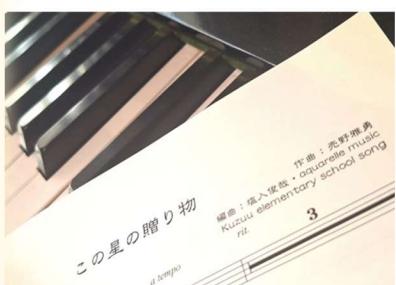
さて、もう7年も前になりますが、それはそれは素晴らしい歌詞で、しっとりとワルツのようなりズムで歌われていた小学校の校歌がありました。子どもたちが歌うたびに、君たちは「この星の宝物」「宝石たち」と讃えられ大切にされ、「泣いているひとをみつけたら立ち止まるやさしさがほんとうの勇気」だと、人としての生き方を教えてくれていました。

当然のこと、学校（葛生小学校）が閉校になれば校歌だけ残ることはまずありません。もちろん無くなることに対するさみしさもありましたが、それ以上に歌詞をとおして子どもたちに伝えてくれていた生きる人としての気高さも語られる機会が減り、校歌が歌われていた地にあった何か大切なものまで消えてしまうような気がしてなりませんでした。

こうした時、多くの皆さまがご助言とご指南をくださいました。そして始めたのは校歌を後世に残すプロジェクトで、「葛生オリジナル曲『この星の贈り物』」として吹奏楽スコアにする取り組みです。もちろん制作は校歌を作詞作曲された壳野雅勇先生にお願いしました。今でも完成したスコアを見ると、壳野先生から塩入俊哉先生をご紹介いただき、目黒の駅前に出向き打ち合わせをさせていただいたことなど、当時のことが懐かしく思い出されます。

そして、今、大変お世話になった方々への感謝とともに、親身になって相談にのってくれた関係の皆さんに出会い、それによって更に壳野先生に出会うことができて「この星の贈り物」が完成したかと思うと、「出会い」こそが始まりであり、「出会い」によって事が成されていくような気がしてなりません。

*もうすぐ新しい年です。ここねっとを利用される皆さんとの「出会い」を大切にしながら
2026年を過ごせればと思います。*



鉢木游醉(センター長)記